

県農産物の消費行動・認知度等に関するアンケート調査結果

農政課

1 調査目的

県民の皆さんの安全・安心な食生活について現状や意識を把握し、今後の施策の参考とするため、県民の皆さんの意見や感想を伺いました。

2 調査対象等

調査対象: 県政モニター802人(うちインターネットモニター497人)

調査方法: 郵送及びインターネット

調査期間: 令和4年12月1日～12月21日

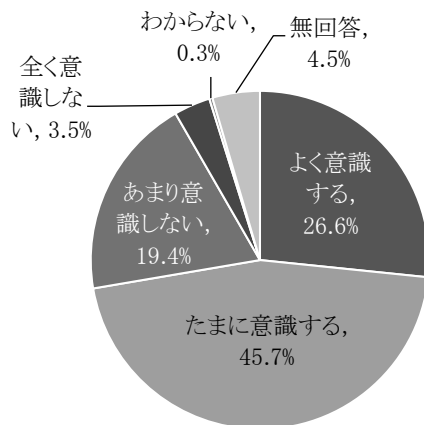
回収結果: 661人(回収率82.4%)

構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

そのため、合計が100%にならない場合があります。

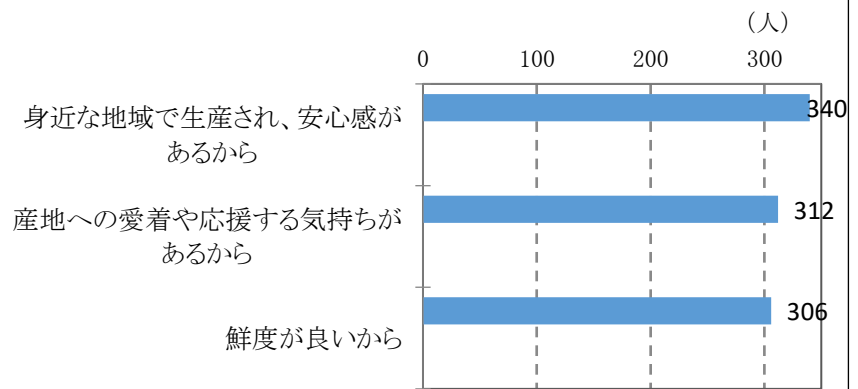
3 結果概要

○地産地消に対する意識

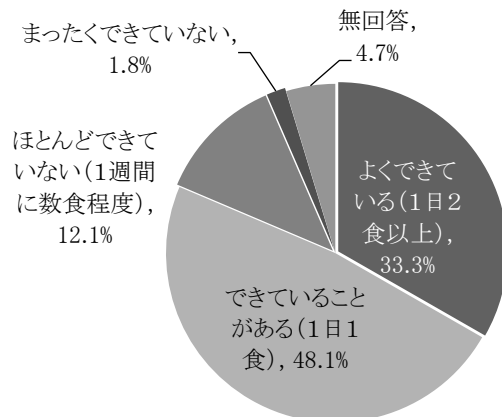


【意識する理由(上位3つ)】

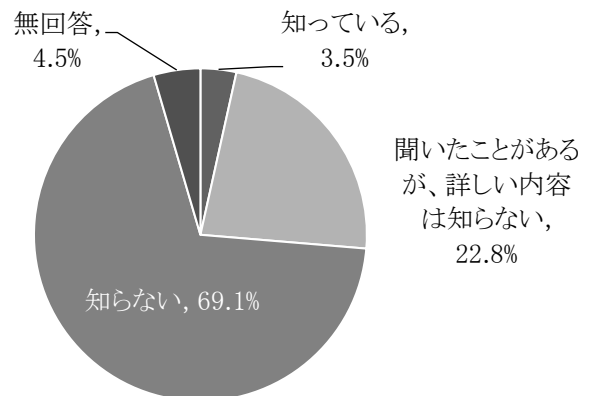
※「よく意識する」または「たまに意識する」と回答した方



○バランスのとれた食生活



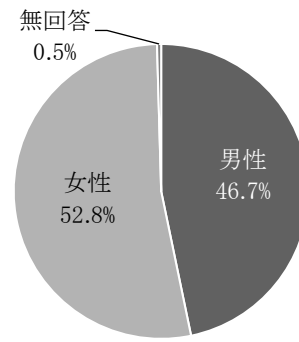
○ぎふ清流GAPの認知度



4 回答者属性

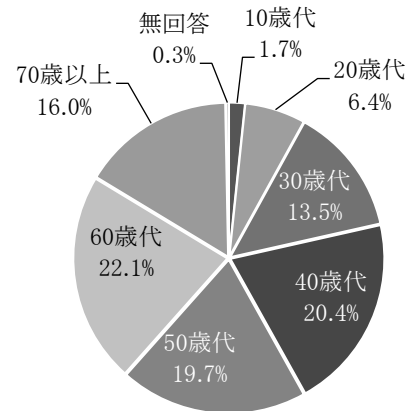
(1)性別

	人数	割合
男性	309	46.7%
女性	349	52.8%
無回答	3	0.5%
計	661	100.0%



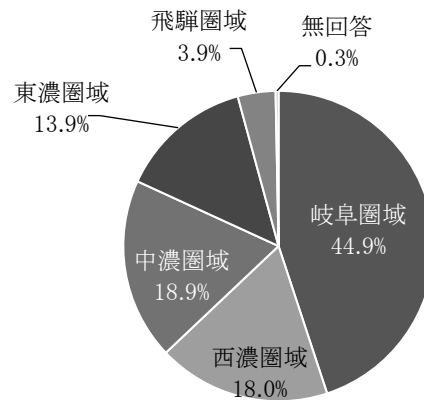
(2)年代別

	人数	割合
10歳代	11	1.7%
20歳代	42	6.4%
30歳代	89	13.5%
40歳代	135	20.4%
50歳代	130	19.7%
60歳代	146	22.1%
70歳以上	106	16.0%
無回答	2	0.3%
計	661	100.0%



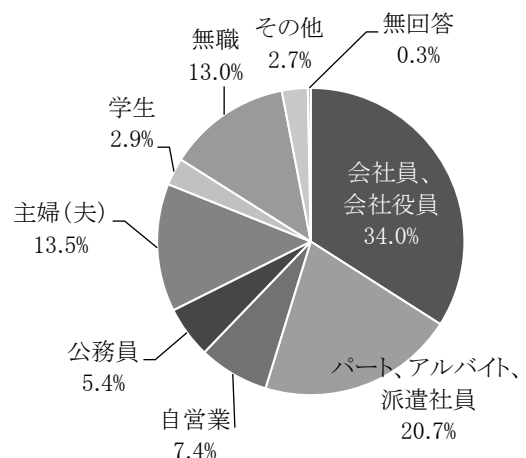
(3)居住圏域別

	人数	割合
岐阜圏域	297	44.9%
西濃圏域	119	18.0%
中濃圏域	125	18.9%
東濃圏域	92	13.9%
飛騨圏域	26	3.9%
無回答	2	0.3%
計	661	100.0%



(4)職業別

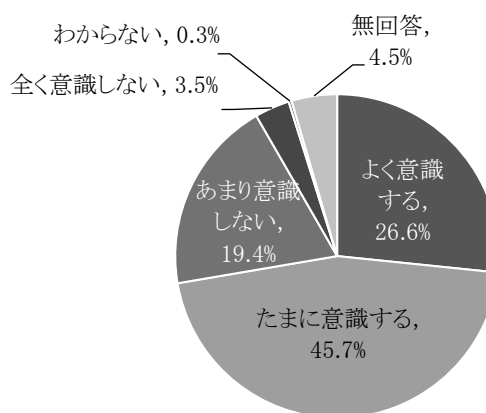
	人数	割合
会社員、会社役員	225	34.0%
パート、アルバイト、派遣社員	137	20.7%
自営業	49	7.4%
公務員	36	5.4%
主婦(夫)	89	13.5%
学生	19	2.9%
無職	86	13.0%
その他	18	2.7%
無回答	2	0.3%
計	661	100.0%



5 調査結果

問1 農産物を購入するとき、岐阜県産のものを選ぶなど「地産地消」を意識していますか。

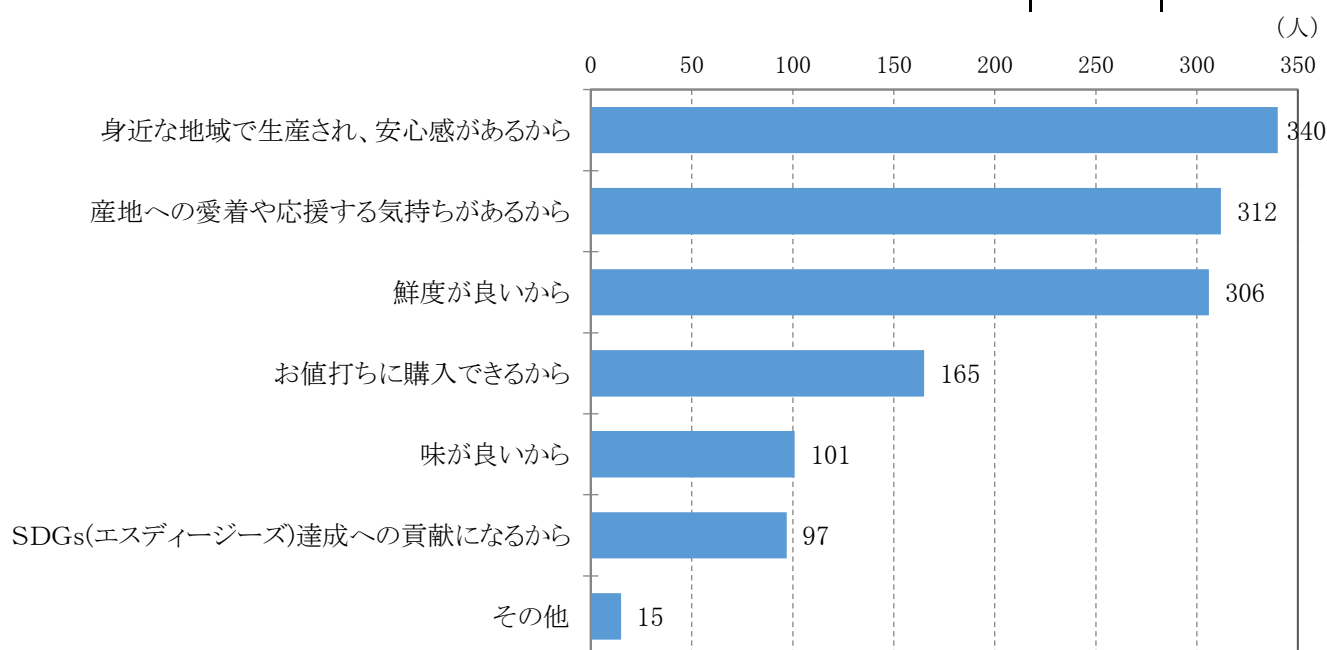
	人数	割合
よく意識する	176	26.6%
たまに意識する	302	45.7%
あまり意識しない	128	19.4%
全く意識しない	23	3.5%
わからない	2	0.3%
無回答	30	4.5%
計	661	100.0%



問2 (問1で「よく意識する」または「たまに意識する」と答えた方)

地産地消を意識して購入するのはなぜですか。 (複数回答) 回答者478人

	回答数	割合
身近な地域で生産され、安心感があるから	340	71.1%
産地への愛着や応援する気持ちがあるから	312	65.3%
鮮度が良いから	306	64.0%
お値打ちに購入できるから	165	34.5%
味が良いから	101	21.1%
SDGs(エスディージーズ)達成への貢献になるから	97	20.3%
その他	15	3.1%
計(延べ)	1,336	-

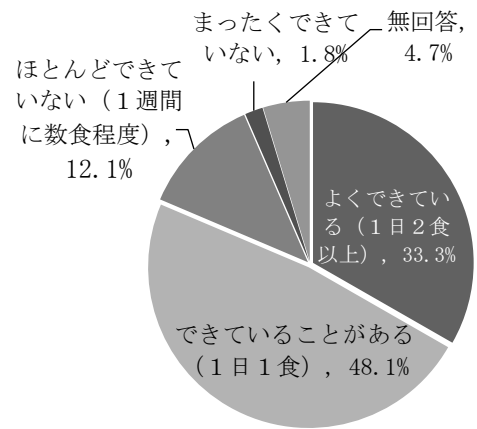


「その他」のうち主なもの

- ・生産者の応援をしたいから
- ・地元で生産されたものであれば、輸送時の二酸化炭素の排出量を抑えられるから

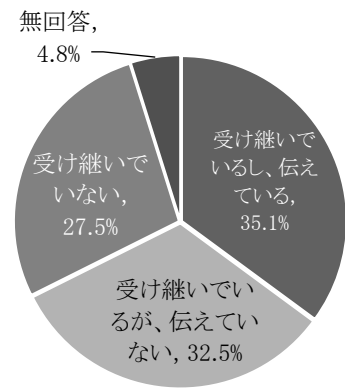
問3 主食、主菜、副菜を基本にバランスのとれた食生活を送っていますか。

	人数	割合
よくできている(1日2食以上)	220	33.3%
できていることがある(1日1食)	318	48.1%
ほとんどできていない(1週間に数食程度)	80	12.1%
まったくできていない	12	1.8%
無回答	31	4.7%
計	661	100.0%



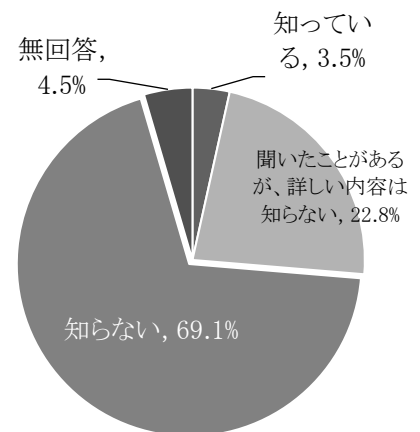
問4 郷土料理や伝統食など、地域や家庭に伝わる料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法について受け継いでいますか。また、地域や次世代(子どもやお孫さんを含む)に伝えていますか。

	人数	割合
受け継いでいるし、伝えている	232	35.1%
受け継いでいるが、伝えていない	215	32.5%
受け継いでいない	182	27.5%
無回答	32	4.8%
計	661	100.0%



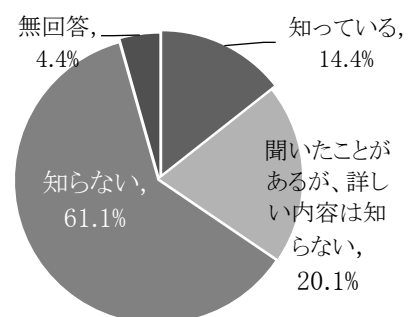
問5 「ぎふ清流GAP評価制度」あるいは「ぎふ清流GAP農産物」をご存じですか。

	人数	割合
知っている	23	3.5%
聞いたことがあるが、詳しい内容は知らない	151	22.8%
知らない	457	69.1%
無回答	30	4.5%
計	661	100.0%



問6 「清流長良川の鮎」が世界農業遺産に認定されたことをご存じですか。

	人数	割合
知っている	95	14.4%
聞いたことがあるが、詳しい内容は知らない	133	20.1%
知らない	404	61.1%
無回答	29	4.4%
計	661	100.0%



問7 県農政及び安心安全な食生活に関してご意見などがございましたら、お聞かせください。

(主なもの)

《安心・安全な農産物について》

- ・岐阜県で生産される食に深く行政が関わり、食の安全、食の生産効率化による付加価値向上、後継者不足の解消、若者の従事化などにより岐阜県産のブランド化を推し進め、希望が持てる県にして頂きたいと思います。
- ・私たちが安心して食べられる農作物は、ある程度高価になることなど、消費者の教育もお願いします。

《農産物の地産地消について》

- ・地産地消が大切。岐阜県の農産物の発展になる。
- ・次世代の子ども達に地産地消を推進してもらえるように、食に関する教育をあらゆる所でさらに進めてほしい。
- ・ぎふの素晴らしい品質のものを広く知らせてブランドを高めることは地元に対して大きな貢献ができる大切な政策だと思います。

《食料自給率・食料安全保障について》

- ・岐阜県内の食料自給率を上げる事に努めてほしい。そうすれば、他の地域もついてくと思う。
- ・大豆や麦等の価格高騰している農作物を、県の推奨作物として取り組んで下さい！

《農畜水産物のPRについて》

- ・岐阜県の農業・農政は、何かまだアピールが足りないと感じております。岐阜県の農政は他県にない農業・農作物があります。県内に対してのアピールだけではなく、是非県外に対してもアピールをお願いしたいと思います。
- ・安心安全な食生活に関して、県がどのような取り組みをされているのか知る機会がなかなか無いです。

《その他、農政に関する意見》

- ・後継者問題も課題のひとつだと思われる農業事業者らに、現状以上の補助金などによる財政的な支援があれば良いと思っています。
- ・小中学校の給食で、もっと県産農産物の利用幅を広げていただきたい。
- ・不耕作農地の利活用をはじめ、山間地の小規模農地の再土地改良の実施により農地の大規模化を進め、荒廃農地を農業法人等が大型農業機械を駆使して耕作できるように、基盤整備も図ることが大切だと思います。
- ・野生動物(イノシシ・ニホンジカ)の肉を、珍しい「ジビエ」としてだけではなくもっと普通にスーパーでも買えるくらい普及させられるといいと思う。
- ・ドローンなどを使って撮影しAIでどこにどれだけ放棄耕作地があるか把握し、データ化して活用することが必要だと思う。
- ・県農産物業者をもっともっと応援するため、グローバル化を推進強化して欲しい。